

伍芳(ウーファン) プロフィール

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏奏者の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く学ぶ。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における中国楽器ブームの先駆けとなる。

南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。「トップランナー」「徹子の部屋」など多数のテレビ・ラジオ番組に出演のほか、朗読、狂言、人形浄瑠璃文楽、和太鼓とのコラボレーション、皇太子様、雅子様(当時)へ向けての単独での御前演奏等々、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサクソ奏者、KENNY.G のジャパントアール4全公演にゲストとして呼ばれる。2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷でもある上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。

2011年4月10日～2015年9月 ABC ラジオ「伍芳(ウー・ファン)のふらっと♪阪神沿線」、2016年4月～2017年8月 FMCOLO「中国国家観光局 ウー・ファンと いっしょに中国へ」のナビゲーターを務める。2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。同年11月神戸市文化奨励賞を受賞。これまで13枚のアルバムを発売。

2019年3月20日に通算14枚目のアルバム「KOTOKOTO FANTASIA～箏箏夢絃～」を発表し、それをきっかけに25絃奏者久野木史恵と二人で「KOTOKOTO」ユニットを結成。

2023年3月12日より宇治興聖寺に通じる参道「琴坂」をテーマにしたオリジナル曲「琴坂～KOTOZAKA～」を全世界へ配信。近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも務めている。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。